2018.04.28（土）

**川崎支部便り（2018年第3号 5月号）**

**（オープンで各自が主役：川崎支部）**川崎支部支部長　赤津　武雄

（執筆幹事　河合・親川） （執筆者　河合）

　川崎支部の皆さん、お元気でしょうか。

先月の川崎便りはお楽しみ頂けたでしょうか。今回は南武線です。気楽にお付き合い願います。

**川　崎　点　描　（南武線の生い立ちとは？①）**

多摩川に沿って川崎市の海側から東京都稲城市に入り、多摩川を渡り立川まで川崎市の東から西まで背骨のように走っている鉄道が南武線です。今回は南武線の生立ちについてお話しします。

川崎市の上平間で代々名主を務める家の16代当主秋元喜四郎氏が1919年5月5日（大正8年）に鉄道院へ「多摩川砂利鉄道敷設免許申請書」（川崎駅～東京府南多摩郡稲城村）を出願したのが南武線誕生の始まりでした。1920年1月29日（大正9年）免許は公布され秋元氏は同年3月1日「南武鉄道㈱」を設立し、同年3月17日には終点となった立川までの延長を追加申請しました。

ところが用地買収の問題から工事着工時期の目途が不透明になりかけたころ、浅野セメント（現太平洋セメント）の創業者浅野総一郎氏が名乗りを上げられました。浅野氏は既に青梅鉄道（現青梅線）を傘下に収めており青梅鉄道から南武鉄道経由で川崎の工場までの石灰の輸送を目論んでいました。浅野氏の息子の泰二郎氏が筆頭株主になり、次のように路線拡張が進みました。

1927年（昭和2年）3月9日　川崎～登戸間と矢向～川崎河岸間開業

 11月 1日　登戸～大丸（現南多摩）間開通

1928年（昭和3年）12月11日　大丸～屋敷分（現分倍河原）間開通

1929年（昭和4年）12月11日　屋敷分～立川　全線開通

1930年（昭和5年） 3月25日　支線の尻手～浜川崎間開通

その後川崎臨海部に大規模工場を誘致、目黒競馬場を府中に誘致（現東京競馬場）。稲田堤の桜や久地の梅林などの花見客を誘致するなどして、南武鉄道は利用客を増やす努力も行ってきました。

久地駅（旧久地梅林駅）と宿河原駅の間に「宿河原不動駅」があったことをご存知の方は極めて少ないと思います。実は私の本家がこの駅に少し関係しているようなのでお話ししましょう。

新明国上教の教会（通称宿河原不動尊）が当地にあり、本家とも親交のあった関山佐吉氏が教祖を務めていました。教会に便宜を図って駅が作られたものと思いますが、本家の家屋に隣接する農業用地を駅舎用地に提供したことも影響を与えているのでしょう。

宿河原不動駅開業は1934年（昭和9年）4月1日です。そして1944年（昭和19年）4月1日に南武鉄道が戦時買収私鉄指定で国有化（南武線）されると同時にこの駅は廃止されました。

**川崎支部の活動**

・2018年4月のWEB総会で役員信任を頂きましたので、川崎支部HPに記載の構成となります。今後とも、宜しくお願いします。

・川崎支部HPのお知らせにも記載しています「第1回パークゴルフ大会」を開催しますので、ご参加をお待ちしています。

場所：川崎市パークボール場多摩川うなねパークゴルフコース

　　　川崎市高津区宇奈根・久地地内　（044－833－0115）

　　　JR南武線　久地駅より徒歩20分　田園都市線　二子新地駅から徒歩25分

　　　久地バス停より徒歩約10分　（宇奈根の信号が目印）

日時：2018年5月26日（土）　13時現地集合

　料金：大人450円（65歳以上　250円）/R　貸出しクラブ　50円

 　　　 川崎支部（パークゴルフへのお誘い） [20180401.sakura.ne.jp\_20180402\_073053.pdf](https://tcu-alumni.jp/branch3/wysiwyg/file/download/45/493)

**耳寄り情報**

東横女子短大出身の女優井川遥さんが雑誌「LEE」の表紙を飾っています。手に取って見て下さい。

今日は「お味噌」です。

日本人のDNAに深く根付いたみそは、生きるために必要な必須アミノ酸が豊富で、美容から健康までサポートする頼もしい素材です。例えば、乳がんや胃がん、生活習慣病のリスクを下げることが分かっています。

また抗酸化力や老化抑制機能、肌を明るくするとも言われていますので、お勧めの食材です。

●1日3杯以上のみそ汁で乳がんの発生率が40％減少（厚生労働省研究班　2003年）

●みその塩分は胃がんを促進しない（広島大学・渡邊敦光名誉教授　2006年）

●みそは脳卒中、痴呆症、心臓疾患などの発症を低下させる（大妻女子大学・青木宏教授　1994年）

●みそ汁のある食事パターンが骨粗鬆症に効果（㈶癌研究会付属病院・陳瑞東医長　1994年）

●発酵によってみそに老化制御機能が生まれる（東京農業大学・小泉武夫教授　1995年）

皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

（連絡先：【k\_yamagishi@6kou.co.jp】山岸宛（窓口））